

中小形タケノコ 栽培手帳

～時期ごとの管理について～



1月～2月 林内の整理

- ☑ 伐採した竹や枝の片付け
- ☑ 雑草の刈り払い
- ☑ 元肥

■ 伐採した竹や枝の片付け

これから発生するタケノコが見やすいように、倒した竹や枝は搬出するか、竹林の隅に集積します。

(参考)伐竹材の利用

- ▶ 林内に筋おき (土砂を止める)
- ▶ イノシシよけの柵に利用
- ▶ 竹炭として利用
- ▶ 粉碎して堆肥に利用



■ 雑草の刈り払い

雑草を刈り払い、落ち葉を掃き地表を見やすくします。

落ち葉は、ケイ酸や窒素等の肥料成分を含んでいますので、焼却せずに堀穴などに戻しましょう。



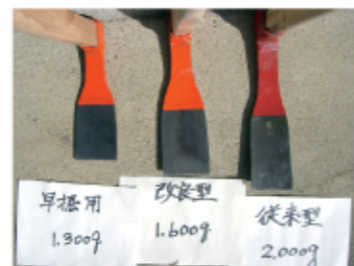
■ 元肥 (2月)

タケノコの芽を太らせます。低温期用の配合肥料を 30kg/10a ばらまきで施用します。草刈り後が良いでしょう。



ミニ知識

クワを軽くして楽にタケノコ掘り!



クワを軽くした改良品

早掘り (中小形) 用に、小型・軽量化したクワです。早期のタケノコ採りや堀取りが楽です。
(連絡先 0943-22-3717 盛重鍛冶工場)

3月～4月 タケノコ収穫

- ☑ 新竹の仕立て
- ☑ 収穫
- ☑ 追肥

■ 親竹の仕立て (新親竹づくり)

あれ、タケノコ掘りは??あわてないで。収穫も大事ですが、「親竹の仕立て」も重要な作業です。仕立てる時期がポイントです。

[時期] ・ ・ タケノコ最盛期の約 1 週間前 (4月上旬)

[本数] ・ ・ 立竹密度 200 本/10a のとき、40 本
 // 250 本/10a のとき、50 本

* 伐採した竹と同じ数の新竹をたてるようにする。また生長が途中で止まることもあるので、タケノコは上記本数より 2 割程多めに残し、成竹後に調整する

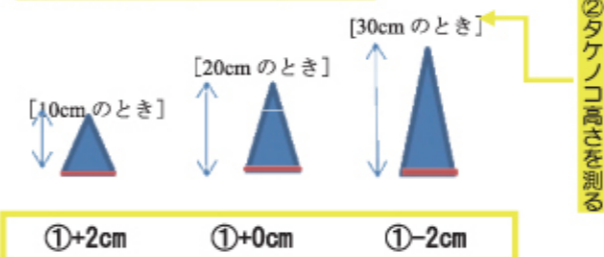
* 親竹用のタケノコは掘り採らないよう、竹串などで目印をつける

将来タケノコを生んでくれる竹です。勢いのある元気なタケノコを選びましょう。



-元気なタケノコの特徴-

①直径を測る: () の部分



③親竹になった時の大きさを推定

-タケノコの大きさから親竹の大きさを推定する方法-

	大形化	小形化
竹林の傾斜	急傾斜 (30°)	緩傾斜 (20°)
親竹の大きさ	大きい (10cm以上)	小さい (10cm以下)
親竹の密度	多い (300本/10a)	少ない (200本/10a)
ウラ止め	無し	有り (枝段数15)

-タケノコの大きさを左右する要因-

■ 収穫

[地割れ掘り]

2～3 月から地割れを探して掘ると、柔らかくえぐみのない良質な中小形タケノコが採れます。

早く掘り取ることで、後のタケノコ発生をうながす効果も。

堀穴を埋め戻す時には、落葉や肥料を混ぜてあげましょう。



[保管]

掘ったタケノコは、乾燥を防ぐため袋に入れるなどして運び、新鮮さを保ちます。

■ 出荷

[根切り]

赤芽 1～2 節程度を残して、平滑に切ります。折れ、欠け、切りすぎなどに注意。



[出荷]

乾燥や日射を避けるためムシロなどで覆って運びます。

出荷箱にタケノコを詰め込みすぎると、傷ものになり価値が下がります。



■ 追肥 (3月) ・ ケイ酸肥 (4月)

タケノコ肥大に即効性のある肥料 (15kg/10a) を、堀穴に施します。

また、収穫が終了したら、親竹を強くするためにケイ酸 (60kg) をまきましょう。

適期にきっちり肥料をやることで、1000kg/10a の収穫を目指します。



福岡県森林林業技術センター
福岡県久留米市山本町豊田 1438-2
Tel.0942-45-7870
福岡県特用林産振興会
福岡県福岡市天神 3 丁目 10-25 森連ビル
Tel.092-712-4310 平成 21 年 2 月発行

このテキストは、平成 18～20 年度新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業「新商品化に向けた皮付き水蒸タケノコ生産技術の開発 (中小形タケノコ生産技術の開発)」の成果に基づき作製しました。

5月
ウラ止め

- ☑ ウラ止め
- ☑ お礼肥

■ ウラ止め

ウラ止めとは、柔らかい新竹の先端を落として竹の高さを抑えるものです。

ーウラ止めのメリットー

- ▶ 高価格の中小形タケノコが増える
- ▶ 台風被害が少ない
- ▶ 伐竹作業が楽になる

[時期] 幼枝が1～3段出た5月頃

[方法] 次のいずれかの方法で行います

- ▶ 揺すり落とし・竹を両手で揺する
- ▶ ロープ・10m 縄を竹にかけて揺する
大径竹に便利
- ▶ 鎌切断・長い柄の鎌で先端を切る

[段数] 15段前後残す



ウラ止め
適期!



まだかな

忘れないうち



■ お礼肥 (5月)

4～5月は竹の秋とも言われ、竹の葉が入れ替る時期です。親竹の葉色をよくし、新たな地下茎を育てるために、多めにあげましょう。タケノコ配合肥料を40kg/10aが目安です。



8月
タケノコの芽子形成

- ☑ 夏肥
- ☑ 散水

■ 夏肥 (8月)

次の年のタケノコの芽が夏から秋にかけて出来ます。この芽を増やし、親竹に活力を与えて地下茎を充実させるため、お盆を過ぎた頃に、必ず肥料をあげてください。

タケノコ配合を40kg/10aが目安です。
なお、施肥前には下草を刈ります。

■ 散水

夏の晴天が続くと、竹林も乾きます。ため池や沢があるところは散水すると、芽だしに有効です。

近くに水場がなくても、竹林内に2m四方程度の穴を掘りシートを張れば、雨水による簡易水槽となります。

≡ニ知識

「雄竹と雌竹ってあるの?」

答えは、「ありません」。

一般には最下枝が1本の竹は「雄竹」、2本の竹は「雌竹」などと言われていますが、竹は地下茎を伸ばして増えてゆくクローンですので雌雄はなく、雄雌の割合でタケノコの発生に影響が出ると言うこともありません。タケノコの出方は地下茎の活力に左右され、老齢で活力のない竹は、タケノコを生む力がないということはいえます。最盛期を過ぎて発生したタケノコは老齢な地下茎からの割合が高くなるため、親竹にはあまり仕立てないようにしましょう。



10月～12月
伐竹

- ☑ 伐竹作業
- ☑ 竹齢記入
- ☑ 秋肥

■ 伐竹作業

古い竹や、小さな竹を伐竹します。毎年伐竹している場合は、5年生の竹を選んで伐ります。春に新親竹を立て秋に伐採し、竹林を更新していく大事な作業です。



[時期] 10月～12月 台風シーズン後

[伐竹] 5年生の竹、古竹、枯れ竹、被圧竹

[本数] 竹林全体の1/5

*竹は1cm太くなると、重さは約5kg増えます。中小径ウラ止め竹は伐竹の負担を減らします。

■ 竹齢記入

竹の年齢を見分けるために、毎年竹齢を墨や色分けテープで1本ずつ記入すると、誤伐がありません。4年生以下の竹を間違えて伐ると、タケノコの発生が悪くなります。



竹の年齢



[1年生] [2年生] [3年生] [4年生] [5年生]

ー竹齢別の竹の特徴ー

竹齢	節部の色	幹の色	地際の皮
1	純白	白緑色	皮付
2	白色	緑色	一部付着
3	薄い白色	薄い緑色	—
4	黒色混ざる	白緑色	—
5	黒色+濁白色	白色	—

(参考資料)

イノシシ対策



ビニール資材による目隠し+アミ



トタンを使った柵



伐採した竹や枝を積み上げた柵



ワイヤーメッシュの柵 (上端を曲げる)



栽培の道具

左から
唐くわ：タケノコ収穫用
なた：枝払い・伐採
のこ：伐竹・玉切り
ロープ：伐竹・ウラ止め



表紙の写真・

(上から) 中小形タケノコ・中小径のウラ止めた竹林・皮付き水煮のタケノコ料理